

藤波こども園

令和4年度 園長だより No.7

令和4年12月6日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

見て、聞いて、体験して 学び、育つ子どもたち

暑さ厳しかった夏が終わり、さわやかな過ごしやすい秋から寒さを感じる冬になろうとしています。子どもたちは毎日、元気に過ごしています。子どもたちは、年上の子からのお話や自分たちの遊び、園で繰り返す活動などから様々なことを感じて学んでいます。その様子の一部を紹介します。

秋の散歩を満喫

“自然”を発見、生き物への思いやり

【散歩をしながら“秋の自然”を発見】

11月はさわやかな日が多く散歩に出かけて楽しみました。田んぼ道や稲刈りの後



の田んぼは絶好の散歩場所で、子どもたちはいろんなことを見つけていました。「葉っぱの後ろにカエルが隠れている」「バッタがおしっこをした」「花の蜜が甘い」「ゴマみたいな種が飛んで散っていく」など、自然の中からたくさんことを見発見しました。乳児の雪組、桃組の子どもたちは青柳小



学校のグラウンドに入らせていただき、ドングリや松ぼっくりを見つけては拾っていました。

【年下の子へのいたわりの気持ち】

午前中の縦割り活動で、各ホームごとに散歩に出かけることもしばしば。散歩のコースに自動



車が通ることもあります。そんなときは月組（年長）の子どもたちが星組（年中）や花組（年少）の子どもと手をつないでみんなが安心して散歩をできるようにしてくれます。月組の子どもたちはこれまでに年上の子からしてもらったことを覚えていて、自分たちの役割を自覚し、小さな子へのいたわりの気持ちをもっているようです。

【生き物への思いやり】



星組（年中）の子どもたちが青柳・日吉神社へ出かけた時のことです。境内

には公園があり、遊具や川で遊びました。（裏面へ）



(表面からのつづき)

川でサワガニをつかんで遊んでいましたが、帰る時間になって子どもたちに悩

み事ができてしまいました。つかまえたサワガニをどうしようかと言いだめたのです。苦勞してつかんだサワガニを持ち帰って育てたいと思う子もいれば、逃がしてやりたいと思う子もいて、なかなか意見がまとまりませんでした。すると、ある子どもたちから「月組の人たち、朽木でつかまえたイモリを全部逃がしていた」「カニさん、自分の家に帰りたいて言っているみたい」の声で、サワガニを元の場所に逃がしてあげようということになったのです。

縦割り活動を続けていることで、保育者からの指示で動くのではなく、子どもたちが自然と自分たちで考えるように育っていることを感じた瞬間でした。



周りをモデルにして育つ子どもたち

カードゲームをしていた時のことです。

星組(年中)の3人が遊んでいて、Aちゃんが負けてしまい、機嫌を損ねてしまってテーブルの上にあったカードを床にばらまいてしまいました。そこへ月組(年長)のBちゃんがやってきて状況を聞き、「私もそんなことがあったわ」と言いながら床のカードを拾ってくれました。翌日、別の3人がゲームをしていて、その時も負けた子がテーブルのカードを床にばらまいてしまいました。そこへ前日に機嫌を損ねてカードをばらまいてしまったAちゃんがやって来て、何も言わずに床のカードを拾ってくれたのです。その様子を見ていた年長のBちゃんが「Aちゃん、すごい!」と言った時、Aちゃんは赤くした顔をかくしながらも満面の笑みを浮かべていたようです。

万が一に備えての動き



11月2日に行いました引き渡し訓練では保護者のみなさま

まにご協力いただき、ありがとうございました。その際、一部の方には園からのメールが届かずにご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。後日、配信方法を変えてテスト配信をさせていただきました。万が一の場合は全ての保護者のみなさんにメールが届くよう、細心の注意を払います。

引き渡し訓練は午後に行いましたが、その日の午前中に緊急地震速報の訓練が行われました。午後には避難訓練を予定していましたので、



午前中の地震速報への対応は予定せず、子どもたちには何も伝えていませんでした。ところが市の無線で地震速報(訓練)が流された時、園庭で遊んでいた全ての子どもたちが遊びをやめ、自分の近くにいた保育者のところに集まってしゃがんでいました。園では毎月、避難訓練を行っていますが、そのことが子どもたちに浸透し、自主的な行動につながったようです。

職場体験の中学生より

5日間の職場体験を行った中学生が、次のように感想を言ってくれました。



- ・みんな仲がいい。
- ・いろんなルールを先生から言われるのではなく、自分で気がついて後のことに活かしていた。
- ・縦割りの活動で、上の子が下の子にやさしく接している。

藤波こども園が大切にしていることを中学生が感じてくれたことに、嬉しく思いました。